

「家庭と学校の学びを効果的につなげた授業の在り方／予習型学習」



校長

ICT 活用促進プロジェクト実践推進校の取組をチャンスと考え、ICT の効果的な活用を模索してきました。生徒の学力向上を図るために、家庭と学校の学びを効果的につなげた授業の在り方について研究しました。

予習型学習とは…

生徒が家庭で学習内容を予習してから授業に臨み、授業では、予習内容に基づいて演習問題を解いたり、議論を行ったりする学習方法。



生徒

「授業中にもう少し話し合いをしたかったな。」
「前もって自分で勉強しておいた方がいいのかなあ。」



先生

「授業時間のマネジメントが難しい…」
「もっとじっくり考える時間や話し合いの時間を確保したいなあ。」

社会科の実践（公民分野）

学習支援ソフトを活用した家庭学習

- ・本時の学習内容を動画教材で視聴し、課題に対する自分なりの考え（解決策）をもつ。
- ・自分の考えをクラウド上の提出箱に提出する。

本時のめあてを設定する

- ・家庭で得た本時の追究活動に必要な知識とねらいに迫るための視点（対立と合意、効率と公正）を確認する。

個人の考えを基に、グループで交流し、全体で共有する

- ・提出しておいた解決策を持ち寄り、視点に沿ってグループで話し合い、解決策を考える。
- ・解決策を考える場面で気付いたことをグループで話し合い、考えを深める。

話し合いを通して深めたことを確認する問題に取り組む

- ・他の事例に取り組み、知識の定着を図るとともに、学習のまとめをする。

📌 学びを深めるための時間が充実する

家庭

導入

展開

まとめ

外国語科の実践

学習支援ソフトを活用した家庭学習

- ・動画教材を視聴し、本時の新出言語材料を用いた英文の意味や使い方を事前に学習しておく。

本時のめあてを設定する

- ・単元のつかむ過程で取り組んだ試しの活動で表現できなかった内容を、予習内容を用いて表現できないか、考える。

表現を再構成する

- ・予習で得た知識を活用しながら、自分の考えを表現する。
- ・友達のよい表現を学び、自分の英作文に取り入れる。
- ・共同作業シートを用いて、英作文を修正したり、よりよいものにしたりしながら、表現方法を身に付ける。
- ・お互いの英作文を読み合い、アドバイスしたり感想を伝えたりする。

📌 言語活動の量と質が高まる

よい例を全体で共有し、フィードバックする

- ・内容面や言語面のよい例を全体で取り上げて共有し、学習のまとめをする。



【授業者】

- ・生徒が、家庭学習で得た知識を基に、自分の考えをもって授業に取り組めるので、意見を交流した上で、考えを深めさせる場面を設定できた。
- ・教師の役割が変わった。考えを深めさせる発問を端的に行い、生徒の活動を促すファシリテーター的な立場になった。

【授業者】

- ・家庭学習で習得した知識を授業の中で使いながら、修正したり、既習事項を復習したりしながら、正確に身に付けさせることができた。
- ・活動時間が増えた分、生徒の気付きを大切にしながら、よりよい表現ができるようにすることができる。



研修主任

動画教材により知識や技能を習得し、それを基に自分の考えをもって授業に臨めるので、授業中は、考えを深めさせたい場面に時間をかけ、考えを深化させたり、終末の振り返りを充実させたりすることができました。初めは、生徒がきちんと家庭学習に取り組めるか心配でしたが、授業につながることが自覚でき、家庭学習で分からなかったところは次の授業の中で確認して理解が深まることが実感できると、しっかり取り組むようになりました。



研修主任

片品中学校では、動画教材の活用によって上記のような成果がありましたが、動画教材がなければ取り組めない訳ではありません。例えば国語では「物語文や説明文の初発の感想を家庭学習でクラウド上に提出し、授業では単元の課題設定から始める」、算数・数学では「個別の考えをもつ学習を家庭で行い、授業は集団解決の学習から始める」といったこともできると思います。各学校でも、「家庭と学校の学びを効果的につなげた授業の在り方」について考えてみてください。



群馬県 ICT 活用教育サポートサイト
→ スタディサプリの活用
片品中の実践事例が掲載されています